

# 岩手県立大野高等学校 PTA 会 報

第1号 発行日：平成30年7月26日

発行 岩手県立大野高等学校PTA広報委員

※本年度のPTA会報は、第1号を学校印刷、第2号を業者印刷と致します。  
第1号においては見づらい点もあるとは思いますが、ご容赦ください。  
※このPTA会報は大野高校HPからも閲覧可能です。

## ◆PTA 会長あいさつ PTA 会長 長川敏彦

### ～大野高校70周年、PTAも飛躍の年～

山々の緑も一段と色濃くなり、七夕飾りが軒先に揺れる季節になりました。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る平成30年5月13日に開かれましたPTA総会において、PTA会長を仰せつかりました長川と申します。今年で4年目となりますが会員の皆様の協力のもと、粛々と今年度の活動を進めていきたいと思っておりますので何卒よろしくお願ひいたします。

さて、今年度はPTA会員の皆様もご存じと思いますが、10月は三つの大きな行事があります。「全国でも類を見ない松茸収穫祭」、「大野高校文化祭」、そして「大野高校創立70周年記念式典」です。PTA活動においては生徒活動のサポートにてんてこ舞いの月になると予想されます。特に、大野高校創立70周年記念式典は会員の皆様の力なくしては成り立たない式典となります。会員の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

結びにPTA活動は会員の皆様あってのものです。御多用とは存じますが、PTA活動へのご協力を今後ともよろしくお願ひいたします。



## ◆学校長あいさつ 校長 清川義彦

### ～伝統の継承～

一関市で開催された第70回県高総体卓球競技。本校卓球部の存在感は、他を圧倒していました。それは「大野の卓球」という看板、そして勝利を信じボールに集中する選手と観客席から熱い応援を送る保護者、選手を支え導く指導者の「想い」が一つになった現れでした。そして、皆に共通するその「想い」とは、単に勝ちたい、インターハイに行きたい、ということだけでなく、「伝統を継承する」というものだったのではないかと感じました。

本校卓球部は、これまで数々の輝かしい成績を収め、今年も二十一年連続全国高校総体出場、女子は団体八連覇が懸かかっていました。しかし、特に女子は部員不足ということもあり、残念ながら、全国への道は途絶えてしまいました。その中で、女子1名が東北高校選手権出場、また、岩手県代表として三二国体（東北総体）出場を決め、結果を残してくれました。高総体に出場した選手達は、各々の目標達成のために、そして伝統を守り、地域の期待に応えるために、必死に戦い抜きました。今回、全国大会出場はならなかったものの、先輩方から受け継いできた、戦う魂をしっかりと表現できたこと、努力を惜みず懸命に練習に励んできたこと、それらの姿勢そのものが、間違いなく伝統を継承していると言えると思っておりますし、今後も繋がっていくものと信じています。

卓球ばかりではありません。今年度、創立70周年を迎える本校には、その歴史の中で多くの栄光を刻み、大野高校の発展に貢献してきた運動部・文化部の活躍があり、今なお、その伝統は確実に受け継がれています。

種市高校との連合チームとして出場した野球部をはじめ、他校との合同で出場する部も出てくるなど、新たな形態の取組や部活動の在り方そのものを検討する時期にきています。生徒数減少の波は避けられませんが、小規模校だからこそ効果をもたらすこと、大野高校だからこそその強みを発揮することを見いだしていかなければなりません。学校を取り巻く環境が変化しても、いつの時代でも、生徒がいきいきと学校生活を送り、大野高校の伝統を繋ぐ取組が続けられることを願っています。



## ◆PTA 役員会・総会が開催されました

4月20日（金）にPTA役員会が、5月13日（日）にはPTA総会が開催されました。

今年度の活動計画や、研修・交通安全・広報委員会の活動内容の確認、役員の改選に関わる内容等を中心に話し合いを重ねました。

今年度は、70周年記念式典などがあるため、PTAの皆様より大きなご協力が必要であることや、活動内容を精選していくことなどが課題に上がりました。



## ◆進路講演会が開催されました

PTA総会日の同日に、キャンパスネットワークオフィス代表の納谷正基（なや まさき）氏を講師に迎え、進路講演会が開催されました。

よりよい進路達成するための生き方を根幹に置き、「どのような高校生として生活するべきか」、「高校生としての将来の見つめ方」などを生徒に対し熱弁をふるってくださいました。

生徒たちは終始講演に集中して自分の未来について真剣に考えを巡らせていました。



【生徒の感想から（一部抜粋・部分要約有り）】

■これからの自分の気持ちを変えていこうと思った。苦手な物事から逃げずに最後まであきらめずに取り組んでいきたい。学力を身につけて社会に出られるようにしたい。（3年男女）

■家庭事情があるから進学しない道を選ぶのは良くないと思った。自分が本当に行きたい学校があるなら奨学金やアルバイトなどで通う。後悔しないようにしっかり考える。（2年男女）

■あらためて勉強が大事だと思った。先生がおっしゃっていた「企業は学ぶことが嫌いな人をとらない」という言葉が印象に残った。（1年女）

【聴講した保護者の感想】

昨年、納谷さんの講演会に参加なさった方の薦めで、初めて納谷さんの講演をお聞きしました。高校に入学し、「これから我が子も大人になっていくのかな」と漠然と考えていましたが、私たちが生活していた高校時代ともまた違う試練が子ども達に待ち受けているのだと感じました。子どもと一緒に、社会に出ることの難しさや、責任感や必要とされる能力について、見直そうと思います。親子共々気持ちが引き締まった講演会でした。

## ◆交通安全登校指導がおこなわれました

5月2日（水）に、交通安全登校指導が行なわれました。PTA活動の一環として、続けられている大野高校の伝統とも言えるこの行事は、保護者・交通安全委員生徒・教師が一体となり、登下校時のマナーや安全意識の向上を目指すことを目的としています。

交通安全街頭指導に参加して頂いた保護者の皆様、有り難うございました！





## ◆里山整備が行なわれました

大野高校の名物行事と言えば「収穫祭」です。各種報道機関でも取り上げて頂くこの行事は、大野という地域の特色を活かして行われている行事です。秋の収穫祭のためにマツタケが生育する環境をつくろうと、全校里山整備が6月29日（金）に行なわれました。今年度もPTA 有志により、生徒がより安全に活動できるよう事前に樹木を間伐しました。比較的歩きやすくなった里山に生徒達は、意気揚々と入っていき、大量の落ち葉や刈り取った枝木などを集めて、よりマツタケが生えやすい環境づくりに努めていました。

この里山整備活動の成果として生えるマツタケを利用して、PTA の皆様で協力してマツタケ飯づくりを予定しております。皆様、参加のご協力をお願いします。また、里山事前整備にご参加頂いた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



(1年生)



(2年生)



(3年生)

## ◆全校野球応援がおこなわれました

7月10日、早朝5：30集合の中、誰一人休むことなく初めての洋野連合チームとして野球応援に参加して参りました。

甲子園にも出場した不来方高校との対戦でしたが、初回2点を奪うなど打線がかみ合い、熱い戦いを繰り広げました。応援団と吹奏楽を中心とした、合同全校応援を力に最終回に1点を返すなど、最後まで諦めず選手団も奮闘しましたが、惜しくも敗れる結果となってしまいました。初めての様々な経験を今後に関し、学校間の団結力をより強めていく第一歩となった応援活動でもありました。応援に駆けつけて頂いた保護者の皆様、また、朝早くから生徒のお弁当作りなどの面から支えて頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。

<試合結果>

於：森山球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
不来方	1	2	2	0	0	3	0	0	2	10
洋野連合	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3



(打席に立つ 3B 塩倉)



(全校生徒をまとめる応援団)



(試合展開に笑顔の応援生徒)



## 2018 体育祭 Photo Gallery



### <これからの行事（冬季休業まで）>

7月27日（金）～8月20日（月） 夏季休業	10月 3日（水） 里山づくり講演会
8月18日（土） 北奥羽ナニャドヤラ大会	10月 4日（木） 収穫祭
8月21日（火） 始業式	10月 5日（金）～6日（土） 文化祭
8月29日（水） 一日体験入学	10月27日（土） 70周年記念式典
8月30日（木） 生徒総会②	11月 8日（木）～11月13日（火） 後期中間考査
9月 6日（木）～9月11日（火） 前期末考査	11月15日（木） 芸術鑑賞会
9月13日（木） PTA 役員会	11月27日（火）～12月1日（土） 修学旅行（2年）
9月26日（水） 登校指導②	12月17日（月）～19日（水） 三者面談②
10月 1日（月） 衣替え	12月21日（金） 終業式

### 編集後記

35名の新入生を迎えて、今年度の学校生活をスタートした生徒達。厳しい応援歌練習を乗り越えて、暑い中での高校総体開会式への参加。色んな行事を通して、一回りも二回りも成長していると感じます。行事だけではなく、毎日の勉強や部活も仲間と共に頑張っている様子が見られ、保護者の一人として嬉しくも思っています。もうすぐ夏休みを迎えますが、安全や体調に気をつけ、充実した毎日を過ごしてほしいと思います。家でのサポートも、とても大事だと思うので色んな面での協力や応援を宜しくお願いいたします。

編集委員長 松浦律子

